



吉川小百合のワードローブ

【wardrobe】

この一着に今、あの日が蘇る・・・あの時の自分が、たしかにここにいる。

吉川小百合のワードローブ

【wardrobe】

クローゼットに何十年も眠っていた、思い出がいっぱいつまった品々。

その中でも、とりわけお洒落をするのが大好きだった私は、いつも何かある度にお洒落をしてお買い物をしたり、お食事をしたり旅行にと、とにかくお出掛けすることが唯一の楽しみでした。

いつの日か主人と出会い、二人の娘が生まれ子育てに追われていた時にも、お友達とお食事会だけは欠かすことがなかったわ。その娘たちも3年前、私たちのものを巣立っていったとき、久しぶりにクローゼットの中を整理しようと、ふと目を配ると、次から次へとその時々思い出が蘇ってくるではありませんか。もちろん楽しい事ばかりではなかったわ。

でもそんな時にでも、いつも私のそばにいて元気づけてくれたこのお洋服たちを、私の思い出とともに残しておこうと思ったの。

共に歩んできたこのお洋服たちに感謝の気持ちをこめて、ありがとうの言葉を伝えたかったの。

SAYURI



このファッションは本当に重宝したわ。下にはシンプルなセーターとパンツスタイル。上にそっと羽織る感じでドレスアップしたスタイルに変身。私のお気に入りファッションの中でも BEST5に入るわね。

2



3



4

左：このドレスは学生時代の友人、智子さんの結婚式の時に着たもの。考えてみれば当時はまだこゆうスタイルの方ってあまりお見かけしなかったように思うわ。
右：これは仕事関係のパーティーで少し背伸びして大人っぽさを演出したときのもの。とても気に入ってるファッションのひとつです。



長女加奈の結婚が決まったとき、身元最後のお祝いごと、家族旅行でエーゲ海クルーズの旅に参加したときのパーティードレス。慣れないダンスに参加して、今ではとてもいい思い出になりました。私はエーゲ海のブルーとアジアチックな装いで優雅に。



左：長女の加奈は結婚式を目前にひかえ、清楚な純白のシルクを選びました。一足早い家族だけのウエディング。とっても綺麗だった加奈。今でもしっかりと目にやきついています。
右：次女の真理は情熱的な薔薇をあしらった明るいオレンジ色のドレス。イエローのブーケが愛らしくとても素敵になりました。



8

若いときから、お花のプリントやエレガントなレース使いの組み合わせがとても好きで、今でもそれは変わらない。
ガーデニングが趣味で、時間があれば一日中お庭のお手入れ。室内にはお花をいっぱい飾って。今日は久しぶりにお友だちを家に呼んでティータイムパーティーを開くの。一週間前から準備したホームメイドのケーキでおもてなし。



9

胸元にあしらったレースが素敵でしょ。
お色使いはとてもシックだけれど少しレースがあると華やいた気分にもなれるしやさしい気持ちにもなれる、そんなドレスです。

このジャケットは主人がとても気に入ってたもの。主人とニューヨークを旅した時に着ていたもので、美術館やアートギャラリーをじっくり時間をかけて見て歩くのがこの旅の目的だったので、私もちょっぴりアートにふれるような感覚で斬新なプリント柄を選んでみました。



10



11

まるで絵画を見ているようなプリントブラウスです。派手なようでいて実は美術館などでは、とてもマッチする、お気に入りのブラウス。襟元もとてもエレガントでしょ。昨年の秋も、軽井沢にお出かけしてきました。

12



一生に一度はチャイナドレスを着てみたいと、思いきって購入したものなの。初めはとても勇気がいったけれど、一度袖をとおしたら、もうやみつきになるくらい感動したわ。おかげ様でそれ以来、凄く体型を意識するようになって、これがきっかけでスポーツジムにも通うようになったのよ。

13



これは購入したものなかなか着る機会がなかったチャイナドレスなの。私もすっかり忘れてしまって、ダンスの奥に静かに眠っていたわ。今回はこれを期にみなさんにお披露目しようと思います。是非着てみたいという方、ご一観をお待ちしております。

14



主人の昇進パーティーで着用した
スーツだわ。家庭のこと、仕事の
こと。とにかく日々時間に追われ
る毎日だったわ。ありとあらゆる
ことに真剣にとりくみ、そして懸
念に歩んでいた頃の懐かしい日々
が思い出されます。

15



大学を卒業して20年目の同窓会。
久しぶりに顔をあわせた友人も多
くいたけれど、あの当時と何もか
わってない仲間と出会い、なんだ
か懐かしさが込上げてきて、泣い
たり笑ったり大変な一日でした。

16



30年前のファッションに久しぶりに袖をおしました。もうすぐ六十歳を迎えようとしている今でも、あの頃の思い出がはっきりとよみがえります。
主人と結婚して長女の加奈が生まれたばかりのあの頃に、いまタイムスリップしています。



私のワードローブの中にはレース使いのお洋服がいっぱい。今でももちろん大好きですし、これからも機会があれば着続けたいと思ってるわ。
そうだ、わたしの娘たちにも着せてあげたい気持ちになりました。

つい最近も逗子マリーナにある「リビエラ
グランブール」で主人とお食事をしました。
胸元のストライプがアクセントのジャケット
は、シャリ感のある素材で今夏も大活躍
でした。

19



白色のお洋服は、気持ちも明るくなって
とても気持ちのいいもの。
真理にも男の子が生まれ、あっという間に幼稚園入園です。
孫のお祝いに、帝国ホテルでのお食事会
となりました。

20

このチュニック丈のブラウスは
10年くらい前に日本橋三越さ
んで購入したものだわ。
合わせるものがカジュアルでも
このブラウス1枚合わせるだけ
で、とってもラクなのにドレス
アップした雰囲気になれるわ。



21

22

この2枚のブラウスは、娘たちから
母の日にいただいた大切な贈り物。
いつも「そんなに気をつかわなくて
いいのよ。」といいながらも、正直、
どこか楽しみにしているもう一人の
自分がいたりして。なんだか恥ずか
しいわ・・・。



23

24



このワンピースは、レトロ調柄が母親をも思い出さすような、そんななつかしさをとても感じさせるの。お色もとても気に入ってるわ。ウエストのベルトもしめたりしめなかったり、お出かけのときは金色のチェーンベルトに替えれば、これ1枚でもすごく表情が変わるのよ。

25



つい最近も、お買い物やお食事に出かけする時に活用したわ。このアンサンブルは、ワンピースの胸元とサマーニットカーディガンとさりげなく合わせているところがすごく気に入ってるの。袖をとおさなくても羽織るだけでお洒落もぐんとアップするわよね。

26



このスタイルは30年位前、リバイバル映画で『ローマの休日』を観にいったとき、アン女王役のオードリー・ヘプバーンにあこがれて、お嬢様風ファッションにめざめた当時のスタイルに似ているわ。リボンをアクセントにしたこのようなスタイルで良くお出掛けしていたの。少しはずかしいような気もするけれど、今でも着れるかしら。



27



28

これは沖縄旅行に行ったときにホテルで着ていたものね。加奈も真理も、まだ小学生だったわ。ムーンビーチのホテルのプールで私たちも一緒になってはしゃいで・・・あれから20年なのね。長かったような短かったような。こうしていられるのも主人と娘たち家族のおかげです。今、あらためて幸せを感じています。



長女の加奈がお腹にいるときに購入したコート。この年の冬は本当に寒くて、このヘリンボーンツイードのコートを選んだわ。母親になるんだけどお洒落はしたいし、とても温かく大好きなコートでしたが、今思うとよくこんな重いコートを着ていたと驚くばかりです。

29



30

このコートは次女の真理を出産したその年の冬に購入したものです。加奈の時とくらべるとダウン入りであたたかく、しかも軽いのが印象的でした。そういえばこのコート以来、コートはダウンばかりなような気がします。

胸元にあしらったスパンコールがキラキラ輝いて本当に綺麗でした。親友であり家族ぐるみでお付き合いのある智子さん一家がシカゴのグランドホテルに赴任していたときに、グランドホテルでのディナーパーティーに招待された時のもの。その時着用ということで私が着たのがこのドレス。あの時以来、クローゼットに眠ったままになっていましたが、特別な想いが込められたイブニングドレスです。

31



32



33

せっかくのこの機会だからと、大学時代の友人である智子さんと礼子さんにもお声をかけてみました。いままでで一番大切にしている思い出のいっばいつまったお洋服です。
左：智子さんがご主人とはじめてデートした時に着ていたワンピースだそうです。彼女いわく、このワンピースのおかげで会ったその日にプロポーズされたとのこと。おのろけかしら。
右：礼子らしいわ。お子さんの小学校の母の日参観日に着て行ったもので、「ママ、世界中で一番きれい」といわれて以来、何かあるたびに勝負服にしているようです。確かに似合いそうだわ。

34



楽しい思い出いっぱいのリバーシブルコート。これを着てパリのシャンゼリゼ通りを主人と腕を組んで歩いたわ。紅葉が舞う季節、あの有名な Cafe George V でカフェオーレを口にしながら、ずいぶんと長い間主人とお話しをして話題はもちろん二人の娘と孫のことね。そして凱旋門の前で記念撮影をして、エッフェル塔に向かったの。近いうちにもう一度、このコートを着て、主人とあの時と同じ道を歩いてみたいと思ってるのよ。



35



実はこのブラウスは、主人のお母様からいただいたものなの。いい嫁だったのかそうでなかったのかはわからないけれど、特別な日でもなかったのに「いつもありがとう」って、そっと渡してくれたわ。だから、私にとっては色んな思いがたくさんこもった大切な大切な宝物なんです。

この毛皮のコートは、結婚20周年目のお祝いに主人に買っていただいたものなの。毛皮のコートを着た私と冬の街にくりだしデートするのが夢だったなんて。もちろん大感激したわよ。このコートは私の一番の宝物。

36



もう30年も前になるかしら。本当になつかしいわ。
大学時代のお友だちと3人で、銀座にあるフレンチレストランに
お食事にいったときにはじめて袖をおしたぶどう色のワンピース。